

研究報告書 資料編

仲間とかかわり合う力をはぐくむ体育科指導の工夫 - ボール運動にコミュニケーションルールを取り入れて -

長期研修員 深代 勉

研究の検証授業（小学校6年生「ソフトバレーボール」）で使用した本時案、学習カード等が載せてあります。

1、 本時案

第2時	・・・・・・・・・・・・・・・・	2ページ
第3～5時	・・・・・・・・・・・・・・・・	3ページ
第6～8時	・・・・・・・・・・・・・・・・	4ページ
第9時	・・・・・・・・・・・・・・・・	5ページ

2、 学習カード

コミュニケーションルール一覧表	・・・・・・・・	6ページ
第1時（個人用）	・・・・・・・・	7ページ
第2～9時（個人用）	・・・・・・・・	8ページ
第3～5時（チーム用）	・・・・・・・・	9ページ
第6～8時（チーム用）	・・・・・・・・	10ページ

学習指導案の「単元の考察」・「評価規準」・「指導計画」等は、研究報告書を参照ください。

本時の学習（2時間目）

（1）目標

チームワークをよくするためには、誉め合ったり励まし合ったりすることが大切であることに気付く。

（2）準備

- ・VTR（スポーツ映像） ・ゼッケン ・ネット ・支柱 ・風船 ・学習カード ・学習資料（技能パネル）
- ・チーム用ホワイトボード ・コミュニケーションルール一覧表

（3）展開

時	学習活動	学習への支援・留意点	評価規準(評価方法)
5	1 ソフトバレーボールでは、何が大切か話し合う。	ソフトバレーボールをみんなで楽しく行うためには、個人技能や集団技能のほかに、仲間とのかかわり合いやチームワークが大切であることに気付くように助言する。	
10	2 チームワークをよくするためには何が大切か話し合う。 ・自分で考える ・ビデオを見て考える ・話し合う	今までのソフトバレーボールや他のボール運動の様子を振り返り、チームワークが高まったり、そうでなかったりしたときのことを基に、意見を言うように助言する。 ゲーム中に誉め合ったり励まし合ったりする具体的な様子に気付けるよう、スポーツの映像（県小学生バレーボール大会決勝の様子）を見る場を設定する。 チームワークをよくするためには、何が大切か、具体的な言動でまとめるようにする。	
5	3 コミュニケーションルールについて知る。	仲間に対し、どのような言葉や態度で誉めたり、それを受け取ったりしたらよいか決められるように、誉め言葉や行動の一覧表を提示する。（コミュニケーションルール一覧表）	
5	4 実際に試してみる誉め言葉や励ましの言葉などを決める。	コミュニケーションルールの中から、チームや個人で試してみたいものを決めるように助言する。 チームで試すものについては、みんなでできそうなものから試すように助言する。	
15	5 リハーサルゲームを行う。（風船を使って） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ・円陣を組んで声をかける ・あいさつをして握手する ・誉め言葉や励ましの言葉をおくる 「ナイス ちゃん」 「ドンマイドンマイ」 ・ハイタッチする など </div>	はじめは、誉め言葉のおくり方や受け方を2人組になって練習するように助言する。 要領がわかったら、言葉を換えてよいことを知らせる。 コミュニケーションルールが守れている児童やチームを積極的に賞賛し、他の児童やチームも参考にしようという気持ちが起こるようにする。 仲間のプレーに対して声をかけながら活動できていない児童には、教師が積極的にかかわり誉め言葉や励ます言葉を児童とともに考え、声をかける練習を数回してからチームで行うようにする。 うまくいかない場合は、教師が言葉を補ったり、修正したりして積極的に助言する。	仲間のプレーに対して声をかけながら活動しようとする。 仲間のプレーに対して、タイミングよく声をかけながら活動しようとする。 ア（観察・VTR）
5	6 活動を振り返る。	仲間に誉められたり、誉めたりした時の気持ちや感想を伝え合うように助言する。 チームワークを高めていこうとする気持ちをもつよう、コミュニケーションルールを基に、クラス全員で感想を出し合う場を設ける。	

印は、努力を要する児童への手だて 印は、おおむね満足できる状況 印は、十分満足できる状況

本時の学習（3～5時間目）

（1）本時の目標

仲間のよさを見付け、声をかけ合いながらルールを工夫してゲームを楽しむ。

（2）準備

- ・学習カード ・技能パネル ・得点版 ・作戦板 ・チーム用ホワイトボード ・電子ホイッスル ・ネット
- ・支柱 ・ゼッケン ・膝あて

（3）展開

時	学習活動	学習への支援・留意点	評価規準(評価方法)
3	1 用具や場所の準備をする。	安全に留意しながら準備や片付け、係の活動を進めているチームを全体場で賞賛する。 安全を確かめない児童には、具体的に事故やケガの例を示し、教師も一緒に確かめるようにする。	【第3時】 運動する場や用具の安全を確かめ、運動しようとする。 いつも運動する場や用具の安全を確かめ、運動しようとする。 ア（学習カード・観察） ボールの落下点へ移動して、両手や片手でボールを操作をすることができる。 ボールの落下点へすばやく移動して、両手や片手でボールを正確に操作をすることができる。 ウ（観察）
5	2 準備運動をする。	ゼッケン係がみんなにゼッケンを配り、リーダーを中心にチーム毎に準備運動をするように助言する。	
7	3 ボール慣れの運動をする。 (個人技能をドリルにしたもの)	個人技能の基礎練習を意識したボール慣れの運動を絵図(技能パネル)でたくさん紹介する。 オーバーハンドやアンダーハンドのボール操作ができない児童には、教師が積極的にかかわるようにする。 アンダーハンドがうまくできない児童には、バケツやコーンを腕の間に挟み、ボールキャッチをすることにより、ボールとの距離感をつかんで正面でキャッチできるようにする。	
5	4 めあてとルールの確認をする。(含コミュニケーションルール) ・チームのめあて ・自分のめあて	ゲームのルールを話し合っ工夫していけるよう、はじめは教師が簡単なルールを示すようにする。 各自がコミュニケーションルールのめあてをホワイトボードに書くことで、チームのみんなが仲間のめあてを確認できるようにする。	
15	5 ゲームをする。(総当たり戦) ・4対4 ・審判や得点係は交代で行う 主なルール ネット 170cm ボール 100g 1ゲーム 7点制	作戦板を使うことで、みんながフォーメーションや作戦についての意見を出せるようにする。 積極的に言葉かけをしているチームや児童をすかさず認め、賞賛する。 応援や練習など、ゲーム以外での言葉かけを工夫しているチームや児童は、ゲーム後にみんなの前で紹介し、賞賛する。 ゲームの結果の記録だけでなく、めあてや練習、また、チームワークルールについて振り返るように助言する。 教師は、児童が気付かないでいるよいコミュニケーションを進んで見付け、みんなの前で賞賛するようにする。	
7	6 本時のまとめをする。 ・めあてや作戦について ・コミュニケーションルールについて ・誉めたい人を決め、誉め言葉をおくる	チーム内での存在感を高められるよう、振り返りの場で仲間に対し誉め言葉をおくる場を設ける。 自分の決められた役割を責任をもって片付けるように助言する。 協力して片付けができない児童がいる場合には、自分の決められた分担がはっきりするようにリーダーに明確な指示を出すように助言する。	
3	7 後片付けをする。		

印は、努力を要する児童への手だて 印は、おおむね満足できる状況 印は、十分満足できる状況

本時の学習（6～8時間目）

（1）本時の目標

作戦を生かし、チームワークを高めてゲームを楽しむ。

（2）準備

・学習カード ・技能パネル ・得点版 ・作戦板 ・チーム用ホワイトボード ・練習ヒントカード

（3）展開

時	学習活動	学習への支援・留意点	評価規準(評価方法)
3	1 用具や場所の準備をする。	安全に留意しながら準備や片付け、係の活動を進めているチームを全体の場で賞賛する。	<p>【第6時】 自分たちのチームのよいところを考え、ルールを工夫している。 自分たちのチームのよいところをゲームや練習の反省を基に考え、ルールを工夫している。 イ（学習カード・観察） ボールの方向へ体を向けて1歩踏みだし、カバーをすることができる。 ボールの方向へ体を向けて1歩踏みだし、すばやくカバーすることができる。 ウ（学習カード・観察）</p> <p>【第7時】 仲間のプレーに対して声をかけながら活動しようとする。 仲間のプレーに対してタイミングよく声をかけながら活動しようとする。 ア（学習カード・観察） 状況に応じてオーバーハンドとアンダーハンドの使い分けをしたり、ボールを両手や片手で操作したりすることができる。 状況に応じて的確にオーバーハンドとアンダーハンドの使い分けをしたり、ボールを両手や片手で正確に操作したりすることができる。 ウ（観察）</p> <p>【第8時】 勝敗に対して正しい態度をとり、ルールを守り、審判の判定に素直に従おうとする。 勝敗に対して正しい態度をとり、いつもルールを守り、審判の判定に素直に従おうとする。 ア（観察） チームで話し合い、自分たちのよさを生かす守り方や相手の特徴を分析し、相手を意識した返し方の作戦を立てている。 チームで話し合い、自分たちのよさを生かす守り方や相手の特徴を分析し、相手を意識した返し方の作戦を立てている。 イ（学習カード・観察）</p>
3	2 準備運動をする。	リーダーを中心に体ほぐし的な運動を取り入れ、チーム毎に準備運動をするように助言する。	
5	3 ボール慣れの運動をする。 (集団技能をドリルにしたもの)	集団技能の基礎練習を意識したボール慣れの運動を絵図(練習ヒントカード)でたくさん紹介する。 チームの課題に合った練習を選ぶように助言する。	
5	4 めあてと対戦相手を確認する。(含コミュニケーションルール)	作戦がうまくいったチームや、応援の仕方に工夫の見られたチームをみんなの前で紹介する。 勝っても相手への思いやりを忘れず、負けてもその悔しさをバネにしていけるようなコミュニケーションを考えていくために、仲間づくりゲームに取り入れたコミュニケーションルールをチームで話し合い、工夫して積極的に取り入れていくように助言する。	
7	5 ゲーム1をする。 主なルール ネット 180cm ボール 100g 1ゲーム 14点制 サーブ アンダー など	児童が互いにかけ合う言葉を黒板に掲示し、コミュニケーションルールの意識を高めるようにする。 ゲームが始まる前に、今の意気込みを仲間に言葉や動作で表現するように助言する。 コミュニケーションルールがうまくいっている場面では、ゲーム内容と関連させて積極的に賞賛する。 ゲーム1の反省を生かし、作戦や練習を考えられるように学習カードを基に話し合うように助言する。	
6	6 ゲームの反省と練習をする。	自分たちの課題がうまく見つからないチームには、ゲームを分析する観点を助言することにより、チームのよいところや課題を探せるようにする。	
7	7 ゲーム2をする。	互いに誉め合ったり、励まし合ったりしたよさを発表する場を設ける。	
7	8 本時のまとめをする。	コミュニケーションルールが守れていたかどうか話し合っていくように助言する。 振り返りでは、自分もチームの一員であるという自信がもてるように、椅子に座った仲間へ、順番に誉め言葉をおくるようにする。その時、ハイタッチや握手も同時に行うと仲間意識がさらに高まることを助言する。	
2	9 後片付けをする。	自分の決められた役割を責任をもって片付けるように助言する。	

印は、努力を要する児童への手だて 印は、おおむね満足できる状況 印は、十分満足できる状況

本時の学習（9時間目）

（1）目標

クラスのみなが楽しめるルールを決めて、チームワークよくソフトバレーボール大会をして楽しむことができる。

（2）準備

・ネット ・支柱 ・電子ホイッスル ・得点板 ・作戦板 ・チーム用ホワイトボード ・学習カード

（3）展開

時	学習活動	学習への支援・留意点	評価規準（評価方法）
5	1 対戦計画を立てる。	リーダーとしての意識をもてるよう、各チームのリーダーが話し合って対戦相手を話し合う場を設定する。 全チームと対戦できるよう、リーグ戦がよいことを助言する。 大会の雰囲気盛り上げるよう、リーグ戦表を作成することを助言する。	
5	2 ルールを話し合って決める。	みんなが全力を尽くせるルールになるよう、今までのルールを参考にすることを助言する。 意見を言っている人の方へ体を向けて聞くように助言する。 コミュニケーションルールのめあてを決めなくても、コミュニケーションルールが意識できるよう、学習カードのめあての欄は一つにする。	
5	3 チームのめあてと自分のめあてを決める。	チーム内で仲間のめあてが確認できるよう、各自がめあてをホワイトボードに書くことを助言する。	
3	4 チーム毎に準備運動と練習をする。	元気に準備運動をしているチームを見付け、積極的に賞賛する。	
17	5 ゲームをする。（総当たり戦） 主なルール <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ネット 180cm ボール 100g 1ゲーム 14点制 サーブ アンダー など </div>	練習中は、積極的に技能面の支援をするようにする。 審判の判定に、不服がある場合は、代表してキャプテンが話し合うように助言する。 記録係は、ゲームの結果をリーグ戦表に書き込むように助言する。 コミュニケーションルールが自然と守れて雰囲気を盛り上げているチームを積極的に賞賛する。 学習カードを使ってチーム毎にゲームや練習の反省をするよう助言する。	仲間のプレーに対して、声をかけながら活動しようとする。 仲間のプレーに対して、タイミングよく声をかけながら活動しようとする。
10	6 学習のまとめをする。 ・ゲームや練習の反省 ・仲間へ誉め言葉をおくる ・チームワークについて考える	振り返りでは、椅子に座った仲間へ、順番に誉め言葉をおくるようにする。その時、ハイタッチや握手も同時に行くと仲間意識がさらに高まることを助言する。 大会結果を発表する場において、お互いに賞賛の拍手をおくり合えるよう、教師が進んで賞賛の拍手をおくる。 必ずしも大会の成績 1がチームワーク 1でないことに気付くよう、「チームワーク 1は、どうする」と児童に問いかけ、それぞれのチームのよさを考え、話し合う場を設ける。	ア（観察・VTR）

印は、努力を要する児童への手だて 印は、おおむね満足できる状況 印は、十分満足できる状況

コミュニケーションルール

氏名 _____

ゲームはじめと終わり	ゲームや練習中など
<p>あいさつや握手をする。</p> <p>お願いします よろしくたのむね 負けないぞ 全力でやろう</p> <p>円陣を組んでかけ声をかけ合う。</p> <p>ファイト オー がんばるぞ オー 元気だしていこう オー チームワークよくね</p> 	<p>仲間のよいプレーにほめ言葉をおくる。</p> <p>〔言葉で〕 ナイス ちゃん ナイスレーシーブ ちゃん ナイスプレー ちゃん ナイスアタック</p> <p>〔態度で〕 拍手をする 肩をたたく</p> <p>いっしょに喜び合う。</p> <p>ハイタッチ 抱き合う</p> <p>仲間のミスに励ましの言葉をおくる。</p> <p>ドンマイ ドンマイ 気にするなよ</p> <p>誰にでも失敗はあるよ 今度はきつとうまくいくよ</p> <p>雰囲気盛り上げる言葉を使う。</p> <p>声出していこう おもいきっていこう ファイトファイト 落ち着いていこう つないでいこう 拾っていこう</p>
<p>仲間の名前を進んで呼び合う。 ちゃん</p> <p>非難や雰囲気をこわす言葉を言わない。 ちゃんが したせいで負けたよ。</p> <p>きちんと受けて、きちんと返す。 ありがとう OK オー</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>コミュニケーションルールについて (評価 A B C)</p> <p>感想</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>先生から</p> <p>-----</p> </div>

A よくできた B まあまあできた C よくできなかった

個人学習カード (1時間目用) 名前 _____

バレーボールってどんなスポーツ (ビデオを見ながらメモしよう)

チーム分けをしよう

・1チーム5～6人
 ・決まったチームの仲間
 () () () 呼ぶ名前を決めて
 () () ()
 ・チーム名 「 _____ 」

自分の役割を決めよう

リーダー ()	<ul style="list-style-type: none"> みんなの意見を聞き、チームをまとめるような言葉を進んでかけます。 わからないことがあったら、代表で先生に質問します。 審判をします。
記録係 ()	<ul style="list-style-type: none"> チーム学習カードを書きます。 得点をつけます。 学習カードを集めます。
ゼッケン係 ()	<ul style="list-style-type: none"> ゼッケンを仲間に配ります。 ゼッケンを集めて片付けます。 バレーボールが終わったら洗たくします。

主なソフトバレーボールのルール (ルールの工夫で楽しさ倍増！)

得点
 ・7点先取 ・10点先取 ・14点先取 ・時間制

コート
 ・バドミントンのコート ・バレーボールのコート

ネットの高さ
 ・150cm ・160cm ・170cm ・180cm

ボールの種類
 ・風船ボール ・20gボール ・50gボール ・100gボール
 ・レクリエーションボール ・ミニバレー用ボール

1チームの人数
 ・2人 ・3人 ・4人 ・全員

返球回数 (オーバータイムス)
 ・3回 ・4回 ・5回 ・何回でもよい

ドリブル
 ・一人が続けて2回打ってはいけない ・続けて打ってもよい

タッチネット
 ・あり ・なし ・ひどい場合はダメ

サーブ
 回数 ・1回 ・2回
 位置 ・前の線 ・後ろの線
 打ち方 ・下から投げる ・下から打つ ・自由
 順番 ・順番決めて ・だれでもよい

アタック
 ・あり ・なし

ローテーション
 ・あり ・なし ・一部固定

振り返ろう

評価の観点	評価	先生への質問や感想	先生から
バレーボールのイメージをだいたいもてましたか。	はい ぶつう いいえ		
バレーボールが楽しくやれそうですか。	はい ぶつう いいえ		

個人学習カード

番 名前(_____)

きょうの自分のめあて

<p>チームのめあてを達成するために自分はどうしたらよいか</p>		<table border="1"> <tr> <td>評</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>価</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> </tr> </table>	評	A	価	B		C
評	A							
価	B							
	C							

今日、自分がコミュニケーションルールでがんばること（ほめ言葉などを表の中から選んでもいいよ）

A よくできた B だいたいできた C よくできなかった

学習のアンケート

<p>1 あなたのチームは、今日めあてにしたことを解決することができましたか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>
<p>2 あなたは、チームのみんなで成しとげたという満足感をあじわうことができましたか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>
<p>3 あなたのチームは、友だちの意見に耳を傾けて聞くことができましたか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>
<p>4 あなたのチームは、作戦や練習の話し合いで積極的に意見を出しあうことができましたか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>
<p>5 あなたは、チームの仲間を補助したり、助言したりして助けることができましたか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>
<p>6 あなたは、チームの仲間をほめたり、励ましたりしましたか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>
<p>7 あなたは、チームがひとつになったように感じましたか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>
<p>8 あなたは、チームの仲間に支えられているように感じましたか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>
<p>9 あなたは、今日取り組んだ運動を楽しむことができましたか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>
<p>10 あなたは、今日取り組んだ運動をもっとやってみたいと思いますか。</p>	<p>はい どちらでもない いいえ</p>

チーム学習カード

今日のルール

チームのめあて (課題)

	評価 A B C
--	-------------------

コミュニケーションルール
がんばること

振り返ってみよう
(評価 A B C)



作戦 (または練習) はこれでいこう !

ゲームの結果

対 「	<input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> 対 <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/>	」 チーム
		勝ち・負け
対 「	<input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> 対 <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/>	」 チーム
		勝ち・負け
対 「	<input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> 対 <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/>	」 チーム
		勝ち・負け

よかったところや直したいところ	ほめたい人	先生から
----- ----- ----- -----		

評価のめやす

A・・・よくできた B・・・まあまあできた C・・・よくできなかった

チーム学習カード

月 _____ 日 _____

チームのめあて (課題)

評価		
A	B	C

コミュニケーション
ルールでがんばること

評価	A	B	C
----	---	---	---

振り返ってみよう

チーム名

VS

対戦相手チーム名

はじめの作戦はこれで行こう

ゲーム1の結果

	対		勝ち	負け
--	---	--	----	----

ゲームの反省 (どこを直そうか)

勝つための作戦はこれで行こう

ゲーム2の結果

	対		勝ち	負け
--	---	--	----	----

作戦や練習についての評価

作戦や練習について一人一人が意見を言えたか。また、よく聞けたか。		
A	B	C
仲間のよいアイデアにほめ言葉をおくれたか。		
A	B	C

よかったところや直したいところ	ほめたい人	先生から

評価のめやす

A・・・よくできた B・・・まあまあできた C・・・よくできなかった

